



日本平動物園史上**初!!**
～ オニオオハシの赤ちゃん誕生月 ～



◆ アピールポイント	オニオオハシが当園開園以来、初めて繁殖しました。
◆ 場 所	静岡市立日本平動物園 熱帯鳥類館 (駿河区池田1767-6)
◆ 内 容	<p>  当園の熱帯鳥類館で飼育している「オニオオハシ」が繁殖し、ヒナが1羽元気に成育しています。同種の繁殖は、当園が開園して以来初めてとなります。 </p> <p>  両親は繁殖を目指して昨年の10月から同居を始め、巣箱を改良するなど環境を整えていたところ、今年3月15日(水)にヒナの鳴き声を確認しました。両親を刺激しないように配慮しながら、注意深く見守っていたところ、4月25日(火)にヒナが巣箱から顔を出し、4月27日(木)に巣立ちました。オレンジ色の大きなクチバシが特徴のオニオオハシですが、ヒナのクチバシは若干まだ小さく、色も黄色です。両親ほど俊敏ではありませんが、枝から枝に飛び移ることもできています。 </p> <p>  日本動物園水族館協会加盟園館では、オニオオハシは14施設で42羽(オス18、メス18、不明6)飼育されています(令和4年末時点)。繁殖が難しい種で、国内の園館でも繁殖に取り組んでいますが、同協会加盟園館における昨年の繁殖はありませんでした。 </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  ライチ(父親) </div> <div style="text-align: center;">  レモン(母親) </div> <div style="text-align: center;">  赤ちゃん </div> </div> <p> 【父母情報】 父親：ライチ(2022年10月3日来園) 母親：レモン(2018年6月21日来園) </p> <p> ※ 現在、当園の「オニオオハシ」の飼育数は、誕生したヒナを含めて3羽(オス1、メス1、不明1)です。 </p>

	<p>☆オニオオハシの基本情報</p> <p>【生息地】 南アメリカ</p> <p>【食べ物】 果実や小動物</p> <p>【大きさ】 全長：55cm～65cm</p> <p>【特徴】 オオハシ類ではもっとも大型で、クチバシの大きさは体の大きさと比較して最大。体は全体的に黒色だが、前胸部から顔面は黄色味のある白色。クチバシはオレンジ色で先端に黒斑がある。</p> <p>【生態】 ^{そりん}疎林（※1）など比較的開けた地域に住む。繁殖は^{じゅどう}樹洞（※2）で行い、2～4個産卵し、18日ほどで孵化する。一般的にヒナは2カ月弱で巣立ち、4年ほどで性成熟すると言われている。</p> <p>※1 疎林：葉や枝の密度が薄い森林。</p> <p>※2 樹洞：樹木の幹や太い枝などにできる洞窟状の空間。</p>
--	---

別紙資料 無

ぜひ、取材をお願いします！
写真は記者クラブにあります！！



【問合せ】 日本平動物園（駿河区池田）
担当：野田、山脇
電話：054-262-3251

